

令和元年度 第2回 市長と市民とのくつろぎトーク
『普段多摩市でどのように感じているか』
『どのようにしたら多摩市がもっと魅力あるまちになるか』

令和元年10月5日(土) 10時00分～11時30分

場 所：パルテノン多摩 シティサロン

参加者：11人(男性5人、女性6人)

司会(秘書広報課長)

ただいまから市長と市民とのくつろぎトークを開催します。本日は大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

まず初めに市長と市民とのくつろぎトークについての説明をさせていただきます。

この会は、平成22年度からやっております。市民の皆さんが普段感じられている市政のことなど、ご意見を聞かせていただくため、比較的少人数の中で行っています。昔は、公民館使用団体の方や市内企業の若手や中堅の方など、対象を絞って行っていましたが、近年、無作為抽出の形で皆さんにもお願いさせていただいております。今回は、同世代の方にお集まりいただいておりますが、この形で行うのは今回が初めての取り組みです。皆さんのいろいろなところで共通事項などあると思いますが、ご意見も聞きながら、市長と一緒にくつろいだ雰囲気で行ってください。お菓子も用意してありますので、そちらもお召し上がりいただき忌憚のないご意見を聞かせていただきたいと思っております。

それではまず、市長からご挨拶をお願いいたします。

市長

本日は、皆さま大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。これまで、市長と市民の対話会をいろいろな形でやらせていただいております。今回は、40代の方を無作為抽出という方法で当たった方にご参加いただいております。

市政に関わること、日ごろ皆さんが感じていること、何でも結構ですので、限られた時間ですが、有効に使わせていただきたいと思っておりますのでご協力よろしく申し上げます。

*事務局自己紹介

*各自自己紹介の概略(発言順)

○Aさん 地域：馬引沢2丁目 多摩市居住歴：約7年

○Bさん 地域：豊ヶ丘5丁目 多摩市居住歴：約9年

○Cさん	地域：落合1丁目	多摩市居住歴：約8年
○Dさん	地域：落合2丁目	多摩市居住歴：約14年
○Eさん	地域：和田	多摩市居住歴：約10年
○Fさん	地域：一ノ宮3丁目	多摩市居住歴：約35年
○Gさん	地域：諏訪1丁目	多摩市居住歴：約13年
○Hさん	地域：鶴牧6丁目	多摩市居住歴：約5年
○Iさん	地域：諏訪2丁目	多摩市居住歴：約6年
○Jさん	地域：鶴牧3丁目	多摩市居住歴：約7年
○Kさん	地域：豊ヶ丘1丁目	多摩市居住歴：約35年

市長

最初に自己紹介をしていただきたいと思います。順番にお名前、お住まいの地域、居住年数と昨年度からポスティングしているたま広報を読んでいるかなどお話いただければと思います。

Aさん

7年前に多摩市馬引沢に引っ越してきました。たま広報は見たことがありません。新聞も取っていません。子育てするにはとてもいい環境と思っています。

Bさん

豊ヶ丘に住んで9年目です。その前は、小平市、北海道に住んでいました。多摩市の印象としては、あまりごちゃごちゃしていなくて、住みやすいと思います。たま広報は、たまに見ています。

Cさん

生まれが多摩市で、和田に住んでいました。大人になってから6年くらい多摩市を離れていましたが、戻ってきまして8年くらいになります。結婚して主人も多摩市出身で、今は落合に住んでいます。たま広報はよく読んでいます。

Dさん

関西出身で、14年前に多摩市に引っ越して来ました。夫も関西出身でしたので二人とも初めての多摩市です。住まいは落合です。子どもが2人、子育てするには緑も多くとてもいい環境であると思っています。また、地域の行事も充実していて、特に遠出をしなくてもここで楽しめるのが気に入っています。子育て環境に興味があります。たま広報は、スキー教室の行事など時々見えています。

Eさん

和田に住んでいます。結婚を機に多摩市に引っ越してきて10年になります。子どもが保育園で大変お世話になりました。私は、多言語活動をしていて家にホームステイで外国人が来たりします。多摩市で遊ばせますが、東京見物へ連れて行かなくてもここが楽しい、楽しいと言ってくれて、多摩市が世界の子どもたちにとっても魅力あるまちなんだなあと思っています。たま広報はさらっと見えています。

Fさん

生まれ育ったのが多摩市です。聖ヶ丘小・中学校を出ています。34, 5年住んでいます。連光寺、関戸、一ノ宮と住んでいます。多摩市の魅力は、公園が多いこと、図書館が充実していると思っています。たま広報は出産してからよく読むようになりました。離婚してシングルマザーになり、1歳9か月の息子の関係で手当、育児、児童館情報がたくさん載っているのによく見えています。

Gさん

結婚を機に多摩市に引っ越して来て13年目になります。妻の家族が多摩市にいたので縁あって諏訪に住んでいます。子どもは2人いて、保育園でお世話になり、とてもよくしていただいたという印象があります。たま広報は、主にイベントや健康診断など無料で行ってくれるのでそのあたりを中心に目を通す程度に見えています。

Hさん

多摩市に引っ越してきたのは4, 5年前くらいです。以前八王子市に住んでいて、ただ、多摩ニュータウンができたところからいるので、かれこれ30年間は多摩ニュータウンにいます。何もない原っぱの時代から現在に至るまで自分の目で見ているような状況です。たま広報は健康診断などを見えています。

Iさん

多摩市には縁もゆかりもなかったのですが、結婚した時に狛江市に住んでいて、家を買いたくて探していたところ、多摩市にいい物件があったので6年前に購入しました。多摩市は広々して住みやすいです。2人目の子どもが生まれて多摩市に引っ越してきました。公園がある環境が大好きで子どもにとって大切なまちであり、自分もいろいろ関わっていきたくと思っています。たま広報は、ざっと見えています。

Jさん

夫は多摩市出身でしたが東北で暮らしていました。7年前結婚を機に多摩市に戻ってま

いました。都内、関西、東北と転々としていました。最初、教科書的に団地やニュータウンは高齢化しているという印象で多摩市に入居したのですが、実際は緑が多くて、非常に生き生きしている地域であるというイメージが変わりました。公園、図書館が大好きです。子どもが生まれて、まちの魅力が変わってきました。住みやすい、サポートしてくださる人の人柄も良くて、イメージがどんどん良くなっています。たま広報はよく読んでいて、イベントなどを見えています。

Kさん

多摩市には小学校のころから住んでいます。一度、埼玉のほうに出ましたが、サッカーでちょくちょく多摩市には来ていました。35年くらい住んでいる形になります。小学生の頃は南野、今は豊ヶ丘に住んでいます。多摩市の印象は、港区、赤羽と勤めてきて、立川市、多摩市に近づくにつれて、しょうもないことを言う人は、こちらの人のほうが多い印象です。たま広報は、なんとなく読んでいます。

市長

私のことも少しお話をさせてください。30年くらい前に多摩市に引っ越してきました。小金井市で生まれ育ち、結婚を機に世田谷区の千歳烏山に5年くらい住んでいました。子どもが生まれ、子育てするには車の排気ガスがすごいので、これは何とかしないとけないと住居を探していました。多摩川を越え聖蹟桜ヶ丘に来た時、空気がおいしいのがわかりまして、多摩市に引っ越して来ました。多摩市にきて2人目、3人目の子どもが生まれ、共働きでしたので、保育園や小学校とか子育てするにはとてもいいところだと感じました。皆さんの話を聞いていて全く同じだと思いました。子どもたちは並木公園のターザンロープで遊びました。

たま広報は、コミュニケーションツールとして大切にしたいと、一方では、LINE(ライン)などのSNS(エヌエヌエス)を生かしていきたいです。私は、たま広報でコラムを書いています。ご存じですか。また、市のホームページはアクセスする習慣はあまりないのではないですか。そのあたりも後でお聞きしたいと思います。

さて、本日は皆さんに、他のまちと比べて改めて気づかれたこと、子育てを通して見えてきたこと、それ以外のこともなんでも結構です。ご意見・ご要望があれば、ぜひ伺いたと思います。

Aさん

平日は会社に行って、休日は家で寝ていたいタイプなので、よくわかっていないのですが、私は東北の岩手県出身でして、以前世田谷区にも住んでいました。家と家の間隔が狭くて驚きました。多摩市は、広くて住みやすいです。

市長

Aさんが言っている世田谷区のことをよくわかります。車が、細い道で、甲州街道をバンバン走っていて、多摩市に来たら、広い道で、車の運転がこんなに簡単にできることにびっくりしました。Aさんの感じていることが私もよくわかります。世田谷に住んでなければわからなかったと思います。

Aさん

越してきた時は永山駅のあたりで、街路樹が鬱そうとしていました。何年か前からだいぶ伐採してきています。安全面などで仕方がないことかもしれませんが残念です。森みたいになっていて良かったです。

市長

多摩ニュータウンが造成されているところは木が小さくて、学校や駅の周りも小さくて見通しが良かった。子育て中の方からは見通しが悪いので伐採してほしいという声がたくさんあります。私は、こんもりしているのも好きでしたね。

Fさん

児童館がすごくいいです。一ノ宮児童館や連光寺児童館、桜ヶ丘児童館などいろいろ行ったことがありますが、いつも職員さんが見守ってくれて、話しかけてくれたり、ママさん同士を繋げる役割をしてくださったり、とても気に入っています。そこで知り合ったネパールの方が府中市に引っ越してしまって、友達がいないと連絡があったので府中市の児童館へ一緒に行ったのですが、そこは保育室の解放デーみたいな感じで、誰もいないけど遊具など使って好きに遊んでいいよ的な場所で職員はいませんでした。ママさん同士の待ち合わせに使うならいいけど、ここでコミュニティは生まれないと感じました。多摩市は、どこでもアットホーム的なコミュニティが生まれていて、子育てにはいいなと思いました。

市長

どちらの児童館を利用されていましたか。

Fさん

いつも一宮児童館を利用しています。私自身も行っていたので。

Dさん

共働き家庭で保育園に通っていました。学童クラブの職員さんに助けられました。学童クラブで、子どももそうだけど私自身も友達が増えました。地域で活動したり、地域

で何かを作り上げたり、行事したりすることが丁度いい規模で、生き生きと活動できる環境がいいです。私は元々神戸にいたもので、神戸市で子育てをしていたらこういうことができたろうかと思ってしまうくらいです。とても充実していると思います。ただ、今後中学生になったらどこに行けば、どう過ごしたらいいのか居場所づくりが不安です。

Eさん

上の子が小学生3年生で学童を卒業しました。中学生になると昼間はどのようにしているのでしょうか。和田にかかるがも館が新しくできました。そこは、中学生が夜勉強したり、小学生が昼間遊んだりしてコミュニティが広がっています。私は団体登録していて調理室を借りています。食材だけ持って行けばすぐに調理できるんです。だけど、稼働率が低いんです。原因は、和田の周辺の人だけでは使いきれないのではないかと思います。駐車場が少なくて行けない。駐車場がもう少しあったら、違うのではないか。子どもがいるとどうしても車を使うので、駐車場がもっとあったら稼働率が上がると思います。

Iさん

上の子が5年生で児童館大好きなんです。ちょくちょく行っています。児童館は中学生まで大丈夫なんです、中学生が来るともめるんです。最近の中学生はどうなっているんだろうと心配ですが、そういう施設があるのは活用したいと思っています。

自分は、車の運転はペーパードライバーで、自転車乗らない派、基本歩き、バスは乗るといったところで、多摩市は広すぎて活用できません。広報にはいろいろな情報があって参加したいなと思っても行けない。コミュニティバスがあるといいと思います。子どもたちは、自転車に乗って活動しています。いい施設があるので、もう少しアクセスが良かったらいいなと思っています。

市長

私の子どもは、小学生の時に和田に住んでいて唐木田にあるアクアブルー(温水プール)には、自転車で行って行きました。子どもたちの行動半径は相当広くて、堀之内の方まで行っていました。中学生になったら多摩市内だったら全部行けます。高低差なんて関係ないですね。小学校の時に友だちと多摩川の河口まで行って、途中から帰れなくなり二子玉川まで迎えに行ったこともあります。共働きだったため、うちの子も学童出身でほったらかしでしたが、子どもは育つのではないか。こんな言い方したら怒られてしまうかもしれませんが。

オーパの上にガラス張りのところがあり、関戸公民館の市民ロビーで勉強していました。ベルブ永山でも夏休みなどは子どもたちが勉強でギャラリーやサークル活動室がぎっしりです。今、行政に求められていることは、子どもたちや大人たちが勉強できる場を作っていくことではないかと思っています。これから中央図書館を作りますが、集団で動く時代

から個人で動く時代になっているような気がしています。居場所は確かに必要で、放課後子ども教室や部活動を充実してほしいという声があります。ただ、小学校高学年にもなると、スポーツクラブや塾に通う、英会話を習いに行くなどしているので、行政としてどこまでフォローしていくのが悩みの種です。放課後子ども教室で学校が終わった後の子どもの居場所は、市で何かしてほしいと。どうしたらいいでしょうかね。市が用意した施設に子どもたちは来るのでしょうか。

Kさん

少し乱暴な言い方かもしれませんが、お金があるなしで違うと思います。お金がある家庭は、習い事を週5日びっしり入れて来ません。ない家庭は、公的施設にお世話になる。あればあって使うとは思いますが、費用対効果を考えると、行政は基本的には赤字・黒字を考えないでやるでしょ。だけど、そのためにはお金が必要です。子育ての人、障害のある人を支えていくまちにしていきますと市長さんは言ってました。その時にお金を稼いでくる人達は、どういうところに魅力を持って（多摩市に）来るのか知りたいです。子育てで良かったと思う人もいるでしょう。お金を稼いでくれる人達をどうやって呼び込むか知りたいです。

市長

おっしゃったように放課後子ども教室は、地域でやろうとすると意外とお金がかかります。地域の高齢者やPTAの方がボランティアでやってくれています。絵手紙だったり、囲碁教室だったり、週一回くらいやっていますが、毎日やってほしいという要望もあります。費用面でどのくらいかかるか。児童館・学童クラブは職員を置いてやっています。放課後子ども教室は、地域のボランティアの皆さんで支えていただいていますから、安全・安心とセキュリティとそれぞれ全部完備してやっていくと、相当の費用がかかります。小学校高学年や中学生になったら、個人にかかる費用はあると思いますが、行政には、ひとり親家庭に対する支援があったり、生活保護家庭に対する支援であったり、いろいろサポートする仕組みがあります。

Kさん

あまり、やらなくていいのではないのでしょうか、高学年や中学生には。自分は、中学に行って、食費を削って、ゲームセンターに行って、とりあえず大人になって、子どもを持つことができました。親というのは、倫理観と道徳観を教えて、迷惑をかけるなど。中学生を親が面倒見るなんてそんなのは無理でなくていいし、余計なお世話だと思います。小学校の3年生くらいまでは放課後子ども教室で見たい方はいらっしゃいます。生活保護世帯のフォローとかあると思いますが、収入と学力の問題はあると思います。

Iさん

放課後子ども教室を親はやってほしいと思っているけど、それほど子どもは求めていないのです。登録すれば「好きな時に参加して遊べるよ」って言っても長男は全く興味を示さず、言われて遊ぶのでなく、場所を用意されてワクワクする子としない子がいるんだなと思いました。言われたとおり場所を用意してもそれほど集まらないと思います。その意見は、子どもを見て考え直してほしいです。

Eさん

多摩第一小学校の放課後子ども教室に参加したことがあります。子どもは、自分の興味があることには集まってくるけど、離れるのもすごい早いです。楽しいなと思えば来るし、親としては、いろいろなものを見たり、安全に過ごしてもらえればいいのだけど、ボランティアでやっているので大勢来ても一人ひとりの安全を確保するなんてできないことだし、今までしてきた皆さんはすごいなと思いました。

Iさん

親としては、無料でやってくれるので参加してほしいと思うし、ありがたい制度だと思いますが、それほど子どもは使ってくれない。こんな言い方をしては何ですが、子どものいない世代の人からみると、多摩市は魅力なくなっちゃうのではないかな。子どもと老人ばかりにお金を使っていて、損していないかなと感じていると思います。

Cさん

子どものいない夫婦で、つくる気もない者ですが、多摩市は住んでいて落ち着くという感じです。買い物へ行く時は違う所へ行くので、駅前を充実してほしいです。鉄道も3路線使えるので、通勤なども便利は便利です。子育てには、いい環境と思う反面、子どものいない人にとっては、休日は人が多い、歩きにくい、エレベーターも並んでしまっ。子どもがいない人はペットを飼われる方がいると思うので、ペットの補助金、ペット推奨のようなまちであれば、違った形で魅力があるといいと思います。

市長

京王線には、聖蹟桜ヶ丘駅・多摩センター駅・永山駅、どちらも使える便利な定期があります。これは多摩市民のためにあるようなもので、そういう仕組みができて良かったなあとと思っています。子ども、お年寄りだけではなく、あらゆる人が幸せになっていくためにどうしたらいいのかは、行政の務めで広範囲にやっていかななくてはならないなと思っています。

昨今、百貨店・デパートの撤退が見られます。先週も府中の伊勢丹が撤退して、多摩市

でも3年くらい前に三越が撤退しました。しかし、多摩センターでは、デパ地下はそのまま存続させて、いろいろなテナントも入っています。地元ですべてショッピングをという体制まではできていないけど、何とかしようと取り組んでいます。

課題として、パルテノン多摩大通り、多摩センター地域の活性化ということで、クリエイティブキャンパス構想を立てて、イベントがあるとき以外でも日常的に人が集まるようなまちづくりをしていきます。中央図書館も2022年にでき上がります。年間100万人くらいが来るようです。そうすると、自然にお店やショッピングにも人が集まるような、人が出てくるようになると思っています。今日も結構人がいっぱい来ていて、東京都主催のウォーキングがあって、多摩中央公園に皆集まって大勢の方が歩いています。そういうこともできるまちであり、そういうことに力を入れていきたいと思っています。

Jさん

段階、段階でその場しのぎ的に自分が体験している部分もあるんですが、いろいろお話を伺っていて、将来的にこういうことを考えなくてはいけないことが見えてきような気がします。

児童館は、うちの息子と比べると上の年齢層の話だったので、自分の体験がないことに関することでした。産前・産後にこのまちで暮らしていて、私は元々自宅や図書館で仕事することが多かったので、地域に根付いて暮らして働いていました。仕事じゃなくて、子どもを連れて歩いていると見えてくる景色がありました。そこで感じたのが、空気がきれいとか、空が見えるとかあったんですが、子どもを育てていくと、ちゃんと育つとかいろいろな心配があります。施設はお金をかければ、いくらでもよくできますが、働いている人が寄り添って暮らせるような対応をしていただけるのが、実は一番大きいのかなと感じるようになりました。

私は、バスによく乗ります。バスターミナルのところにある福祉ショップが気になって、そこのおじさんも明るくて元気が良くて、そこで食べてみるとすごく美味しくて、障がいのある方が関わっているということが後から分かりました。地域も関わってそういう事業をやっているところなんだと見えてきました。そしてやがては、子どもが巣立ち、夫婦二人暮らしに戻ったときに、人生何が起こるかかわからないような気持で日々生きています。行政にお願いするというのが、ここに来るまでは非常に悲壮なものというイメージがありましたが、意外にそうじゃなくて、「健幸」って言葉を使っていますけど、そういうサポートで明るく生きるために行政が必要になってくるっていうイメージが持てたらいいなと感じています。

配付された資料を見ていて“ママになるまで”“わくわく子育てのまち、多摩へ”と書かれてあるのですが、どういう展開になるのかわかりませんが、「なるまで」っていうよりも、「なっても」楽しめるような、パパにもなるんだから、子育てっていうとママだけど、パパもママも兄弟ができて、読み取れるようになっていったらいいなと思います。

子どもができて、「多摩セット」というお祝いをもらった第一世代と思うのですが、物品をいただくのはありがたいのですが、どちらかというと「たまっこ」の無料のチケットをもらえとか、物だけではなくソフト面でのお祝いの選択肢があるといいかなと思います。世田谷区は、産後のママさんが施設を利用する場合、安価に使えるって聞いたことがあります。物は調達しようとするならば、なんとかなるんですが、人手が足りないとか、サポートしてもらえたりしたらいいと思います。

市長

これは市役所の職員が作成したデータ集で、子育てするためには多摩のまちはこういう状況ですよとか、健康寿命を延ばすためにはこんな状況ですよ、などのデータをピックアップしたものです。自分のまちの子育ての状況、環境、働くこと、あるいは健康の秘訣はどうなっているのかを具体的に知っていただき、多摩のまちを理解していただこうと、今日はいろいろな資料をお持ちしました。

それぞれのライフステージに中で必要なこと、世代によって必要なこと、子どもがいる・いないなど多様化しています。シングルでずっと暮らす方もいらっしゃいます。日本全体が家族で暮らす方より、10年後20年後は単身世帯が一番多くなるとデータがあります。人生100年時代になってくると、私の母親も一人で暮らしていますし、知り合いの人も一人で暮らしています。そういう時代になったのだと感じます。行政もそれぞれサポートしていかなければなりません。どこにきちんと資源を有効活用してくのか、切り口はいろいろあるかと思いますが皆さんいかがでしょうか。

Kさん

サンリオピューロランドで合コンみたいなのをやっていて、後輩が二人参加したみたいなんです、その後話を聞かなのですがやっているんですか。

市長

あれは、JCといって多摩青年会議所がやっているもので、婚活パーティーを開いています。市の主催ではないのですが、毎年一回ずつはやっていると思います。そこでカップルになった方もいらっしゃるようです。若い人の場合は、出会いの場を自治体主催で婚活をやっている場合もあります。議会でも市が中心となってやったらどうですかという意見もありました。市が動くというよりは、周辺の人たちが楽しく動いたほうがいいのではないかと考えています。

Cさん

サンリオピューロランドは好きです。ショップでアルバイトをしたことがあります。例えば、ディズニーランドみたいに、成人式をサンリオピューロランドでやりたかったな

と思います。多摩市に住んだら成人式はピューロランドでみたいな。40代、60代、80代、成人が2倍3倍になったら市でまた何回目の成人式みたいなイベントで集めるとコミュニティが生まれ、つながりができると思います。

市長

パルテノン多摩は、2018年12月1日から大ホールを閉めています。その際、成人式をピューロランドでできないか検討してみました。浦安市は、ディズニーランドが広いので中で成人式をやっています。サンリオピューロランドは、900人が一同に入れるホールがなくて、貸し切らなくてはならず、祝日の稼ぎ時でもあり無理なのですが、成人式の後に、晴れ着姿なら入れる入場サービスをしています。何かできないかなとは考えています。上の世代でもサンリオピューロランドで何かできないかなというのは、いいアイデアだと思います。夜間なら使えるんです。婚活パーティーをやったのは夜間なんです。夜であればレストランを貸し切ることができます。いろんな団体が貸し切りでパーティーをしています。

Dさん

私は、都心に通勤しています。小田急線も京王線も使えて便利なんです。通勤がしんどいです。多摩市で働けたらと思います。シェアオフィス、在宅・テレワークが進んできている中で通勤が必要か、通わなくてもできる環境が整いつつある中で、自宅はセキュリティの関係で難しいので、サテライトオフィスをこの辺で作り、多摩地域の人が働くということはできるかな。ニーズがかなりあるのではないかと思います。働く人も多摩に増えればいいし、昼間の大人の人口が減っているのではないかなと思うので、この辺で働けるんだったらありがたいと思います。都心に行く人が多いので、会社がきやすいような対策を市でもやってもらえれば、企業自体を呼ぶ必要ではなく、サテライトオフィスが入る施設があればいいなと思いました。

Jさん

小田急・京王沿線の子育て中の友人が、都心に行く電車が非常に混んでいてつらいという話をしていて、多摩あたりに仕事があって働ける環境があればいいなと言っていました。

市長

実際に資料の「ママになるまで《仕事と遊びを両立できる環境を》」のデータ見ていただきたいのですが、多摩センター駅は3路線が乗り入れているので、周辺鉄道駅で比べると乗降数が突出して多い事がわかります。多摩センター駅173,131人、調布駅で11万人、府中駅で8万6千人、断トツで多摩センター駅が多いのです。17万の人が乗り降りしている。昼間の人口も多いのです。都内でも多摩市は多いエリアになっています。それだけオフィ

が多いこともあります。大手の企業も入ってきていますし、2020年KDDIがオープンすると数百人規模の人が多摩センターに来るようになります。

去年、京王電鉄が京王プラザホテル多摩の中に、KEIO BIZ PLAZA(ケイオウビズ プラザ)をオープンしてサテライトオフィスを始めました。あと、ココリア多摩センターの中にキャリア・マムがサテライトオフィスをオープンしました。引き合いがあるなど民間事業者は感じていると思います。サテライトオフィスは動き始めています。どんどんそういう場所を増やしていかないとならないなあと思っています。

Aさん

都心に通勤電車で通わなければならない者です。朝、時間通りに着くように、ぜひ京王電鉄に頑張ってくださいたいです。多摩市の人口、乗降者数は増えているのだから、都心に行く電車の満員電車をなくす、快適な通勤電車をお願いします。

市長

私も霞が関に何十年も通っていました。市長になってから時々都心に行きと帰りに通勤電車に乗るとホッとする自分がいるんですよ。確かに一日3時間くらい通勤電車に乗るんですもんね。異常ですよ。オフィスが湾岸に集中してできているから、こちらのほうにも来るようにしなくてはと思います。東京都に業務核都市ということで、八王子であったり、立川であったり、多摩センターなど、三多摩地域の中では立川と多摩センターは業務核都市になっています。財政的な支援があるとかではないんですけど、位置づけとしては、企業であったりそういうことが集積する場所であったりします。今度は、KDDIが来ますし、都心に集中しているものをこちらにもっと引き寄せられないかなと思っています。魅力あるまちをこれから先も打って出られるような市にできるようにしたいです。楽に通勤できるようにするのはハードルが高いですが、京王も小田急もそうとう頑張っていますし、朝の時間帯にもライナーを走らせるようなことも考えてほしいですね。

Aさん

個人的なことですが、永山駅の改札を馬引沢方面からずっと入れるようにしてほしいです。ぐるっと回って改札に入るので時間がかかります。できたら5分くらい違うと思います。

市長

政策情報誌の「多摩市のまちが大きく変わります！」の7ページをご覧ください。日医大多摩永山病院の建替えに向けた検討が今、進んでいます。2019年の3月議会で議決されましたので、旧東永山小学校跡地と旧多摩ニュータウン事業本部用地と交換して、その旧多摩ニュータウン事業本部のところに日医大が来られないかというものです。日医大

からも、Aさんと同じように改札口がこちら側にあると便利だという要望があって、これはすごいお金のかかることで京王も小田急も大変だと思いますが、市民の方も同じ意見をお持ちだということが分かりましたので、すぐにはできませんが、将来病院ができた時には便利になるよう考えてまいりたいと思います。

Bさん

教育の仕事をしています。少子化で子どもが未来を作っていくことだと思いますが、子どもを増やす方法はないものかと。出産祝い金が出るとかPRしたり、多摩市でもそういう取り組みはできないものかねと、家内と話しています。

Jさん

ありがたいのですが、育児を始めてこれが欲しいというものは、ある意味お金であったりするのかもしれませんが、物でもらってもね。もっと自由度が高いついていうか、たくさん支援を得られるような環境の人ばかりではないので、家事なのか、マッサージ券でもいいので魅力あるものを充実させるのがいいと思います。

市長

いろいろな取り組みをやっています。多摩市も幼保無償化で了承により、保育園や幼稚園が無償化になります。保育園に対しての一人当たりの支出は、23区に負けなくらい他の自治体より多いです。保育園であったり、幼稚園であったり、他の自治体より園の施設、保育士の支援が行き届いています。

妻の両親が中野なんですけど、多摩市で一緒に住めないかと、どうしてもデメリットを言うんです。都会の方が便利ですし、多摩市はうんと首をかしげるのです。吹っ切れていないところがあります。

多摩市は健康な人が多いまちなので、介護保険料など安いです。高齢化はしていますが、ケアもしっかりしています。医者もびっくりしています。多摩市に障がいを持っている人が引っ越してくるんです。サービスが充実しています。健康寿命、住んでいると健康になれるまち。病院も充実しています。日医大多摩永山病院、多摩南部地域病院、精神科の病院や東京都の多摩総合精神保健福祉センターもあります。認知症の方を受け入れる施設もあります。各支援施設、医療・介護、顔が見える連携できるまちとしては、多摩市はピカイチです。多摩市の医師会とも連携していて、各医療機関のシンポジウムもいっぱいやっているし、災害への備えも、医師会、歯科医師会、薬剤師会などと連携してやっています。いざという時も顔が見える関係で動くということ、安心して引っ越して来てもらってください。

Jさん

23区の住宅街を何回か歩く機会がありましたが、活気や人の動きの多さや、明るさなどが、圧倒的に多摩市の方が住んでいて健康になるというか、若々しい印象があります。

市長

中野は高円寺の阿波踊りが盛んですごいですが、多摩市も朝6時から7時ごろまでは、宝野公園に行くとお年寄りがすごいですよ。どこから集まってくるかというくらい的人数でラジオ体操をしています。朝市をやったら儲かるのではないかと思うくらいです。NHKラジオ体操もそこでやりましたが、市内のいろいろなところで、自発的にラジオ体操をやっている方が多く、だからこそ健康寿命がトップなんだなと思います。

Hさん

無作為で抽出されたということですが、我々40代でも市長さんに会いに来られるっていう人は上手くいった人なんですよ。就職活動は酷くありませんでしたか。一緒に育った友人たちも上手くいった人は、IT企業とかに入ってどんどん中心地に引っ越していますが、そうでなかった人たちは、まだこの地域に残っている訳ですよ。僕は、子育てとかしていないので、多摩市の政策は一切恩恵にあずかっていません。

多摩市は私にとってみれば、遠い腐れ縁の親戚みたいなものです。時々、国民健康保険税や住民税の振り込みをしてくださいと言われるくらいです。子育てとかやっていたら楽しいと思えたと思いますが、あまり恩恵にあずかっていないので、払うだけ払って、勿論、警察や消防は火事とかになれば助けてくれると思うんですけど、シングルだと見えにくいんです。私の友人で半分行方不明になっているような人たちは、自宅で引きこもったりしているんだろうと思うと、上手くいった方々の子育てサービスはやるべきですが、今、残っている私の世代の苦しんでいる同級生たちには、ちょっと負担が重いなと思っています。多摩市の景気を刺激していただくのは一番の解決策になるとは思いますが、サンリオを貸し切って婚活パーティーをやるよりも、浅草にあるお金のかからないような飲み屋を1軒用意してくれれば、飲んだくれ同士で意気投合するかもしれない。皆さん、成功されていますが、私はハズレで一人だけの例外で、そういう声も届けないと。

市長さんは、多摩市の皆さんは幸せだな、優秀だな、もっと子育て支援をやろうっていうふうになっているだろうけど、私の世代の家にいるような人の対策なども、頭の中にとどめていただけるとありがたいなと、最後に手短かに言おうと思って来ました。

市長

多摩市も今年の4月からベルブ永山の中に、生活困窮、引きこもりの人たちが相談できる『しごと・くらしサポートステーション』を立ち上げました。専門スタッフをそろえて相談事業を行っています。単身世帯の方がすごく増えていて、繋がっていけるようにと思

っています。単身世帯の方も含めて住んでいて健康になれるまちを目指しています。

児童館や学童クラブは特定の人たちになってしまいますが、図書館などの施設は幅広く、すべての人たちに使っていただけることとなります。パルテノン多摩も、音楽とか演劇とか成人式とか、そういう時にしか使わない施設じゃなくて、これからはパルテノン多摩自体が地域に開放されているいろいろな場面で使えるような施設にしていかなければと思っています。また、パルテノン多摩が外に出て、いろいろな活動を市民の方と一緒にやっていけるような財団に切り替えていくということも大切です。多摩のまちが大きく変わっていくという形にしていきたいと思います。

Gさん

外に情報をどれだけ発信していくかという部分は大きいと思う。子育て世代、単身、高齢者、障がい者に対してこういうことと、それぞれに対して情報発信が必要だと思います。知らなかった、情報がなかったということもいろいろあったかと思うので、今この場にいらっしゃる方はわかったと思いますが、この情報すら届かないところへどのような発信をしていくかという部分は必要だと思います。外にという視点であれば、なかなか外へ出られない方々に対して、出してもらうように工夫するとか考えていく必要があるかなど。地域の活動に参加したらポイントがたまって、そのポイントがたまったらこういうサービスと交換ができるとかを講じてもいいのかなど。それぞれのニーズに合わせ、してほしいこと、できることを集めて、それをマッチングさせていくような形がとれるといいと思います。子育て世代ならファミリーサポートというのも同じだと思います。市外企業についても、多摩市ではこういう取り組みをしている、うちはこれができるという企業を誘致すれば働く場も増えるし、通勤時間の軽減などもできます。

市長

この『桜ぼるぼろん』は、市内の障がい者団体をお願いして作っていただいています。スペインの洋菓子で、これを口に入れて「ぼるぼろん、ぼるぼろん、ぼるぼろん」と3回唱えていただくと自分の夢が叶うと言われていています。これは多摩市の桜を塩漬けしたものがついています。これだけでなく、いろいろな所でいろいろなお菓子を作っていただいています。多摩市の障がい者団体がつくるものには、美味しいものがいっぱいありますので食べていただけたらと思います。

今日お配りした『ことりっぷ』という冊子は、都内の本屋さんで本を買った時に入れていただけていました。行ったら楽しくなりそうな市内のお店を紹介していますので、ぜひ活用してください。

また、オリンピック・パラリンピックでは、多摩市にロードレースがきて、皆さんのまちのそばをもしかすると通過するかもしれないので応援してください。キャンプ地ではアイランドの選手団が多摩市へ来ることが決定しました。台湾のバドミントンのチームも

総合体育館で練習を行います。

今日いただいたご意見を無駄にすることなく参考にさせていただいて、あらゆる世代、あらゆる人が幸せに生きられ、税の使い方も含めて、将来、多摩市に住んで良かったと思えるようなまちするように、ぜひ、皆さんと一緒に頑張っていきたいと思います。行政だけでなく、市議会、市民の皆さんの力が合わさって、団結して、初めていいまちになって行くと思いますので、これからもよろしくお願いします。

長い時間になってしまいましたが、皆さんからいろいろなご意見・ご提案をいただくことができました。できることはきちんと受け止めて実現できるよう、そして、若い人たちを含めて、これからも住み続ける多摩のまちにしていきたいと思っていますので、皆さんよろしく願いいたします。本日は長時間にわたり、ありがとうございました。